

令和3年7月21日

お客様各位

株式会社 渡邊商事
代表取締役 水谷 好孝

日軽金アクトの JIS 表示一時とりやめについてお詫びとご連絡

拝啓

貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて今般、日本軽金属グループの日金軽アクト製のアルミニウム材の試験方法の不備が新たに判明いたしました。

これを受けて日軽金アクト株式会社より、2021年7月19日出荷分より自主的に JIS マーク表示を一時取りやめるとの通知がございました。

なお社内規格とはなりますが、今後も品質、性能的には JIS 規格を満たす製品を提供するとのことです。

弊社の日軽金アクトからの仕入の取扱品目は主に丸棒材になります。

本日時点での弊社からのお客様への既納品分および在庫分については、すべて JIS 規格品となっております。

また今回の不備はメーカー在庫品での事案ですが、原則として弊社からは個別に製作発注をかけておりますので、本件の影響はごく限定的です。

過去の対象明細については現在調査中です。また追って表記変更もごさいますが詳細が判明次第、個別にお客様にご連絡させていただきます。

本件につきましては別紙の通り正式の報告文書が届いております。取り急ぎお送りさせていただきます。ご確認方、よろしく願いいたします。

お客様には重ね重ね、大変なご心配、ご迷惑をおかけしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。

敬具

2021年7月19日

株式会社渡邊商事御中

日軽金アクト株式会社
代表取締役社長
伊藤 嘉昭

日軽蒲原株式会社の JIS マーク表示の一時取りやめのお知らせとお詫び

貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます

このたびの日本軽金属グループ工場における JIS 認証取消しや一時停止により、多大なるご迷惑をおかけしますこと、深くお詫び申し上げます。

日本軽金属㈱名古屋工場での事象を受け弊社製造拠点内での独自調査、ならびに親会社の日本軽金属ホールディングス㈱において、5月17日付に設置した「JIS 認証違反調査委員会」による、『JIS 認証を受けている全拠点への JIS マーク表示製品に対する総点検』を実施している中で弊社製造拠点、日軽蒲原㈱においても不適切行為が発見されました。

これを受けて日軽蒲原㈱の出荷製品に対する JIS マークの表示を一時取りやめさせていただくことといたしました。

記

1. 不適切行為について

- 1) JIS マークをつけてはならない製品の現品票への JIS マーク表示
- 2) JIS 規定に基づいた引張試験片に対しての試験片形状、寸法の誤り
- 3) JIS 規定に基づいた試験試料の採取本数に対しての誤り

2. JIS マーク表示を一時取りやめにする対象について

該当製造拠点：日軽蒲原㈱

認証番号：JQ0308049

JIS 認証規格名称：

- ・ JIS H 4040 アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線
- ・ JIS H 4080 アルミニウム及びアルミニウム合金の継目無管
- ・ JIS H 4100 アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材

3. 今後の対応について

JIS マーク表示の一時取りやめの日時：2021年7月19日(月)工場出荷明細より

7月19日に一般財団法人日本品質保証機構（JQA）へ報告を済ませており今後は指示に基づいて対応してまいります。

一時的にJISマーク表示製品として製造・販売はできませんが、JIS規定に沿った試験、検査を実施し、品質、性能的にはJIS規格を満たした製品をご提供させていただきます。

度重なる弊社グループ工場によるJIS規定についての問題により貴社をはじめ多くの皆様にご迷惑をお掛けしておりますことを心より深くお詫び申し上げます。弊社では極めて重大な事象と受け止め抜本的な品質管理体制の見直しを実施し、信頼回復に向けて全力で取り組んで参ります。

以上